



第47回

地域に踏み込むはじめてのいっぽ

# フミコムcafe

## ふだんの協働がまちを支える

—災害時に官民協働のネットワークで取り組んだ岡山の実践から—



### 自然災害発生。地域で起きたら、その時、私たちは？

毎年のように各地で起こる自然災害。支援金や義援金を寄付した方、またボランティアとして被災地に赴いた方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか？

防災・減災についての情報はあふれているけど、いざ身近なところで起きたときに、地域活動している私たち、地域活動に興味のある私たちは、どう情報を収集して、どのように動いたら良いのでしょうか？

“船頭多くして船山に登らない”ように、地域にどんなニーズがあって、どんなサポートができるか。ひとり/一つの団体ですべてのニーズに対応できるわけではないからこそ、災害時も多様な主体の協働が求められますが、日常顔も活動も知らない人同士での協働よりも、平時からつながっておくことが大事ではないのでしょうか。

岡山の中間支援組織で、災害時にさまざまな団体の活動のハブを担った石原さんから、「情報」を切り口に協働のコツについてお話を伺います。



**ゲスト**

いしはら たつや  
**石原 達也** さん

岡山NPOセンター代表理事

日時：2月21日(金) 18:30~20:30

会場：フミコム (文京区本郷4-15-14 文京区民センター地下1階)

費用：無料

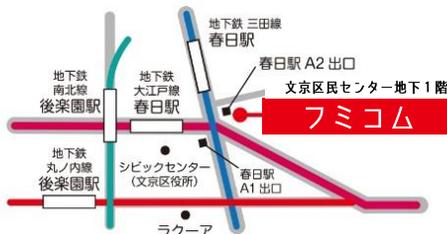
申込：不要 (手話通訳が必要な場合には、2/5までに申込をお願いします。)



【お申込み・お問合せ】

地域連携ステーション フミコム

電話：03-3812-3044 FAX：03-5800-2966  
メール：fumikomu@bunsyakyo.or.jp



フミコムは、文京区社会福祉協議会が区や地域住民・ボランティア・NPO・企業・大学等と連携して新たなつながりを創出し、地域の活性化や地域課題の解決を図っていくための協働の拠点です。